

重点目標	・生徒会・HR活動を通して個性の伸長を図り、豊かな人間性の育成に努める。		P
現 状	・生徒会が中心となり、校則の改訂や学校行事が行われている。 ・HR活動において、生徒が積極的・協力的に活動している。		
具体的な目標	・生徒間での話し合いや協議により、学校行事に参加させ、協力して何かを成し遂げる達成感をもたせ、人間性を豊かにする。		
目標達成のための 方策	・生徒から問題を出させ、どのように解決するかを考えさせる。 ・教師側から提示するのではなく、サポートしていく。		D
具体的な取組状況	・生徒からのアンケートを実施して、改善することをあげ、協議させる。 ・膝掛けの使用についてのルールを決めさせる。		
達成状況	・膝掛けの使用を許可した。ルールは生徒が原案を作ってほぼその通りになった。 ・学校行事での生徒の積極的な参加が見られ、生き生きと活動している。		C
自己評価	評価	根拠	
	A	・生徒が積極的に行事に参加し、クラス対抗はクラス全員での応援もあり、充実している。 ・自分たちだけでなく、他のクラスの生徒へも賛辞や応援もでき、人間性がはぐくまれている。	
↑ 評価基準 ↓	A：具体的な活動がなされ目標を達成できた B：具体的な活動はなされているが、目標は達成できていない C：具体的な活動がなされておらず、目標も達成できていない		
学校関係者評価と 意見	評価	意見	C
	A	生徒会に積極的に参加する生徒が多く、行事に参加している。学校が楽しいと感じている生徒もおり、目標は達成されているようである。	
自己評価及び学校 関係者評価に基づ いた改善策	生徒会や生徒の積極性をより活かすために、三年連続体育館で実施している運動会と、雪のため中止になっている定期戦の実施時期を検討する。		A